

平成18年5月8日

各 位

りそなキャピタル株式会社
ディー・ブレイン証券株式会社

上場サポートにおける業務提携について

りそなグループのりそなキャピタル株式会社(社長 高橋 洋秀)は、投資先企業の早期上場(IPO)をサポートするために、ディー・ブレイン証券株式会社(社長 出縄 良人)と業務提携契約を締結致しました。

この提携により、りそなキャピタルは、新興市場である「セントレックス」「Q-Board」「アンビシャス」等での上場(IPO)を目指す投資先企業を、ディー・ブレイン証券に紹介し、上場サポートを行ってまいります。

*セントレックスは名古屋証券取引所、Q-Boardは福岡証券取引所、アンビシャスは札幌証券取引所の運営するベンチャー企業向け新市場です。

1. 提携内容について

りそなキャピタルは、次に該当する投資先企業をディー・ブレイン証券に紹介し、両社共同で対象企業の成長支援を行って参ります。ディー・ブレイン証券は主幹事証券となることで、積極的に対象企業の成長支援を行います。

時価総額が5億円から30億円程度あり、早期に上場を目指す企業

セントレックス、Q-Board、アンビシャスへの上場(IPO)をファーストステップとして成長加速を検討している企業

中京地域、九州、北海道等に営業地盤を持ち、上場指向のある企業

2. 提携の背景と狙い

(1) りそなキャピタル

- ・新興三市場の次に位置するセントレックス、Q-Board、アンビシャスの各市場における主幹事実績が豊富な同証券と提携することで、成長加速を目論む企業等に対しても幅広い成長支援・資金支援活動を行っていくことが可能となります。

(2) ディー・ブレイン証券

- ・ベンチャーキャピタルトップクラスのりそなキャピタルのファイナンス機能を活用することで、営業基盤を更に拡大していくことが可能となります。

以 上

(参考)両社の概要について

<りそなキャピタル株式会社>

同社は従来から「成長支援 NO.1 ベンチャーキャピタル」をコーポレート・ビジョンとして、新興三市場（ジャスダック証券取引所、東証マザーズ、ヘラクレス）への上場を目指す投資先へのソリューション機能を充実させてきました。

- ・ 代表取締役社長：高橋洋秀
- ・ 設立：昭和63年3月29日
- ・ 所在地：【東京本社】東京都中央区京橋1-3-1
【大阪支社】大阪市中央区備後町2-2-1
- ・ 資本金：45億円
- ・ 業務内容： 未公開企業の株式、社債等への投資に関する業務
M & Aに関する業務
経営情報の提供、企業経営に関するコンサルティング業務
投資事業組合財産の管理運用業務
- ・ 従業員数：69名（18年3月末現在）
- ・ 主な株主：りそなホールディングス（49.60%）、りそなカード（24.70%）
- ・ 営業成績：17年3月期 営業収益5,931百万円 経常利益1,299百万円
- ・ 投資実績：17年度 160件 44.8億円
- ・ 公開実績：17年度 25社（累計公開社数378社）

<ディー・ブレイン証券株式会社>

同証券はグリーンシート銘柄取り扱いの最大手であり、新たな事業戦略としてセントレックス、Q-Board、アンビシャスへの上場支援を積極的に展開しております。福証Q-Board 5銘柄中4銘柄、札証アンビシャス3銘柄中2銘柄の主幹事の実績があります。（セントレックスは18年度に3件の上場を予定）

*グリーンシートとは、日本証券業協会が、未公開企業の株式を売買するために、平成9年7月よりスタートさせた制度で、未公開企業への資金調達の円滑化、投資家の換金場を確保する目的で、市場とは異なったステータスで運営されているもの。

- ・ 代表取締役社長：出縄 良人
- ・ 設立：平成9年7月7日
- ・ 所在地：東京都中央区日本橋茅場町1-9-2
- ・ 資本金：6億4千万円
- ・ 業務内容： 株式公開専門の証券会社として募集取扱・引受主幹事により成長中小企業・ベンチャー企業への資金供給
公認会計士を活用した公開コンサルティング及び審査
- ・ 従業員数：40名
- ・ 主な株主：日本証券代行（5.31%）、インターネット成長未公開企業ファンド（35.4%）